



インスペクター2万人時代！実績やキャラクター吟味できるナビ

いよいよ4月1日に迫った、改正宅建業法の施行。中古住宅売買時に、インスペクションの説明が義務化されます。インスペクション市場拡大とともに、インスペクターも急増。リフォーム産業新聞によれば、施行前にはその数は2万4600人にも上ると言われています。そこで不安になるのがプレイヤーの品質です。

インスペクターに求められるのは建築の知識だけではありません。仲介の現場でご依頼者さまの不安やニーズをくみ取り、的確なアドバイスをするコミュニケーション能力が不可欠です。また、置かれている状況やご依頼者さまによっても求められる対応力は異なるでしょう。では、どのようにインスペクターを選べばいいのでしょうか？

業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業“不動産の達人 株式会社さくら事務所”(東京都渋谷区／代表：大西倫加)では、インスペクター検索サイト「インスペクターズナビ！」を本日OPENしました。

本サイトは、対象物件の種別やエリア、インスペクターの資格はもちろん、人柄やキャラクターによって、インスペクターをお選び頂けるのが特徴です。**「仲介取引の緊迫した場面で、頼れる雰囲気のインスペクターにきてほしい」「自宅の気になる不具合、生活者目線でフレンドリーな人にインスペクションしてほしい」「営業マンの雰囲気に自分がのまれそう。冷静なインスペクターにサポートしてほしい」**そんなご依頼者さまのニーズに、個性あふれるインスペクターたちがお応えします。

また、掲載されているのは、建築士資格はもちろん業界で初めて国際規格 ISO9001 を認証取得した当社独自の厳しい研修をクリアした厳選ホームインスペクターのみ。そんなメンバーの素顔に迫る人柄や趣味、特技まで楽しくご紹介しています。安心してご自身にあったインスペクターをお選びいただけます。

国際規格 ISO9001 認証取得の独自研修をクリア！厳選されたインスペクターから安心検索！

<https://www.inspectors-navi.com/>



年頭所感 インスペクション元年！宅建業法改正に向けて

今年春からいよいよ、既存住宅取引において仲介事業者にインスペクションの説明義務が課されます。おそらく加速度的に一般の方々によるインスペクション認知度は向上し、既存住宅取引における大きな課題であった情報の非対称性も、一定解消が進むでしょう。テクノロジー進化もあいまって一般の方々のリテラシーはさらに高くなり、リスクヘッジ志向やその手段も増加すると考えられます。

当社では今年から、仲介事業者向けに建物知識をつけていただく研修コンテンツや各種インスペクションサービス提供、熟練のインスペクターの見識をより安全でトラブルのない取引に活用していくためのプラットフォーム構築を進める所存です。

またインスペクションに求められるスキルや倫理観、アドバイス力やサービス全体での利便性、スピードもより高度なものとなることは想像に難くありません。インスペクター育成・品質向上のための研修メニューと情報共有を一層充実させ、ICT 活用によるスピード強化を図ります。豊富な実績と技術力を誇るインスペクターを人柄まで可視化、セカンドオピニオン利用やすい検索サイトもスタートさせます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



さくら事務所
代表取締役社長
大西 倫加
(おおにし のりか)

広告・マーケティング会社などを経て、2004年さくら事務所参画。同社で広報室を立ち上げ、マーケティングPR全般を行う。2011年取締役に就任し、経営企画を担当。2013年1月に代表取締役社長就任。執筆協力・出版や講演多数。

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■ (東京都渋谷区／代表取締役社長:大西倫加) <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行なう「不動産の達人サービス」を提供、約40,000組超の実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。